



大規模 Mac 導入における Jamf Pro の導入効果

株式会社ディー・エヌ・エー様

2000 台以上の Mac をスマートに管理

創業から 20 年を迎え、主力のゲーム事業に加え、E コマース、エンタメ、スポーツ、ヘルスケア、オートモーティブ、そして AI など、時代の動きに合わせて多種多様な事業を展開する株式会社ディー・エヌ・エー (DeNA) は、従業員向けのデバイスとして Mac を積極的に導入していることでも知られています。その台数は実に 2000 台以上という国内屈指の規模となります。

Mac と Windows PC が混在した環境で効率的にデバイスを管理し、情報セキュリティを高めていくため、システム部門はどのような考えに基づいて管理ツールを選び、活用しているのでしょうか。そして、その結果として管理部門と従業員の双方にどのようなメリットがもたらされたのでしょうか。多くの企業が参考にすべきノウハウが詰まった大規模 Mac の管理についてキーパーソンに話を聞きました。

株式会社ディー・エヌ・エー

<https://dena.com/jp/>

ハイライト



従業員数2400名以上
世界に誇る日本のIT企業



エンジニアを中心に
希望者にMacを配付



macOS ServerやARDの
限界を感じて導入



Jamf Proの導入セッション
「JumpStart」を利用



Macの情報の可視化と
安全運用に成功

■ Profile Manager と ARD では十分ではなかった

従業員数が連結で 2475 名(2018 年 3 月現在)を数える株式会社ディー・エヌ・エー (以下、DeNA)において、情報システム管理下にある会社貸与のコンピュータ端末台数は実に 5000 台を超えます。さまざまなモバイルプラットフォーム向けのサービスを展開しているため、開発部門のエンジニアは 1 人で複数台の端末を所有することも珍しくありません。現在、Mac と Windows PC の台数は半々程度ですが、Mac の比率は年々高まっており、社員は 13 インチと 15 インチの MacBook Pro を中心に選べるようになっていきます。



DeNA経営企画本部・企画統括部・IT戦略部の皆さん

「10 年ほど前までは、社員が利用するコンピュータの多くは Windows PC でした。Mac を使っているのはグラフィックデザイナーくらいだったでしょうか。ところが、スマートフォンが普及するにつれ、エンジニアになぜ Mac を使うことができないのか?と問われ、会社としても社員にとって最適なツールを提供したいという思いから、Mac の導入を推進することになりました。今ではエンジニアのみならず多くの人が Mac を選んでおり、その数は 2000 台以上にのぼります」(IT 戦略部・技術推進グループ・宮本篤志氏)

それに伴い、IT 戦略部は従業員に Mac を安全に使ってもらえるよう Mac の管理対策に本格的に乗り出したと言えます。DeNA の IT 戦略部は一般的な企業で言う情報システム部門で、海外・国内拠点の会社全体の IT 戦略設計や管理ツール導入やコンピュータのライフサイクル管理、ネットワークやグループウェアの運用・保守等を担当します。

「従来は、macOS Server の『プロファイルマネージャ』と『ARD (Apple Remote Desktop)』を使って Mac の管理を行っていました。しかし、macOS Server のプロファイルマネージャは構成プロファイルを作成し、管理下にある Mac に適用することができるものの、デバイスが社内 LAN に接続されていないと利用できないという問題がありました。また、Mac のリモート管理を行える ARD に関しては管理方法が面倒で、かつ手動で管理作業を行わなければならなかったのがネックでした」(宮本氏)

「プロファイルマネージャで可能なことは対策していたのですが、それ以外の、たとえば OS のアップデート作業やセキュリティソフトのインストールなどは従業員任せになっていました。また、それぞれの Mac が今どのような状態になっているかのステータスが可視化されておらず、本当に OS をアップデートしてくれているのか、ソフトをインストールしてくれているのか、構成プロファイルが適用されているのかなどの把握が難しかったのです」(IT 戦略部・技術推進グループ・中西匠氏)

また、近年の企業における情報セキュリティ対策の高まりを受け、IT 戦略部はセキュリティ部門へ進捗報告を行った

り、社内監査のためのレポートの提出にも迫られていました。

「社内で決定されたセキュリティ施策に対して、Macでも何パーセント達成したのか報告をしなければなりません。Macの管理が従業員任せになっていますと、いくら頼んでもOSのアップデート作業などを実行してくれない人が出てきます。よって、Macの管理をしっかりと行えるMDM(モバイルデバイス管理)ツールの導入を検討することになったのです」(宮本氏)

そこで真っ先に候補に挙がったのが、以前からDeNA米国オフィスの情報システム担当者を通じて知っていた「Jamf Pro(ジャムフ・プロ、当時はCasper Suite)」でした。

「他社のMDMとの比較検討も行った結果、Macの管理において最適なツールと判断し、2018年3月よりJamf Proを導入しました。正直なところ、Macのデバイス管理であれば、Jamf Pro一択だというのが私たちの結論でした」(IT戦略部・エンタープライズソリューショングループ・赤坂宇哉氏)

■ Jamf Pro で導入時の理解度が高まる

Jamf Proは、Appleが提供するApple製品の導入支援プログラム「DEP(Device Enrollment Program)」に対応し、DEP対象端末であれば「ゼロタッチ導入」つまり新しいデバイスの登録と構成を自動で行い、従業員が箱を開けてデバイスの電源を入れるだけで安全に使い始めてもらうことが可能です。Jamf Pro導入当初、DeNAにあるMacはDEPに対応していなかったため、最初のJamf Proへの登録作業を従業員に依頼する必要こそあったそうですが、現在はリース会社を通してJamf Proでキッティングを行い、時間やコストの大幅削減しながら、効率的かつ安全に従業員へMacを配付しています。

IT戦略部では、Jamf Proを用いて社内配備後のMacの管理を主に担当していますが、異なる管理ソリューションを導入するうえで、難しい点やトラブルなどはなかったのでしょうか。

「私はMacの管理については素人で、プロファイルマネージャも含めて触ったことがありませんでした。でも、Jamf

Proが難しいと感じることはなく、むしろMDM

としての基本部分はとてもわかりやく感じました。OSのアップデートなどはスクリプトを作成して、それを管理下にあるデバイスへ流すだけ。非常にシンプルなオペレーションです」(赤坂氏)

また、Jamfが新規の顧客に対して提供している「Jamf JumpStart(ジャムフ・ジャンプスタート)」も役立ったと語ります。JumpStartは、Jamfのエキスペートが遠隔操作によるオンサイトセッションを通じてJamf Proの基本やApple製品の利用法、自社のシステム統合に関してレクチャーしてくれる導入サービスです。

「当初は自分たちでマニュアルを読み込んで勉強していったのですが、Jamf Proは実に多彩な機



Jamf 製品 ソリューション リソース お問い合わせ Jamf Nation ログイン 試用版の開始

Jamf JumpStart Jamf プレミアムサービス

Jamf JumpStart

AppleとJamfで即戦力

Jumpstartでテクノロジーを最大限に活用

お客様の成功を確かなものにするために、Jamf Proのすべての販売において、新規のお客様にご利用いただけるプレミアセッションと導入サービスをご用意しております。遠隔操作によるオンサイトセッションを通じて必要なツールをすべて装備できるので、製品を最大限に活用でき、さらに、絶えず進化し続けるApple管理エコシステムで日々直面する問題に対してソリューションの導入を開始できます。

Jam ProおよびAppleデバイス管理のトレーニング「Jams JumpStart」
[URL]<https://www.jamf.com/ja/services/implementation/>

能を搭載していますので、全体像がやや掴みにくかったです。しかし、JumpStartに参加したことでJamf Proでできること／できないことがわかり、その後の導入が加速的にスピードアップしました」（宮本氏）

■ 情報システム部門の能力を取り戻す

Jam Pro という新しい管理ソリューション導入から約1年が経過し、従業員からのMacに関する問い合わせやサポート状況などはどのように変化したのだろうか。

「ヘルプデスクへの問い合わせは全社で1日に60件程度で、導入以前と大きな変化はありませんでした。しかし、Macの場合はデバイス自体の信頼性の高さや使いやすさがあるので、機器の故障やソフトの使用方法がわからないといった質問はごく少数です」（赤坂氏）

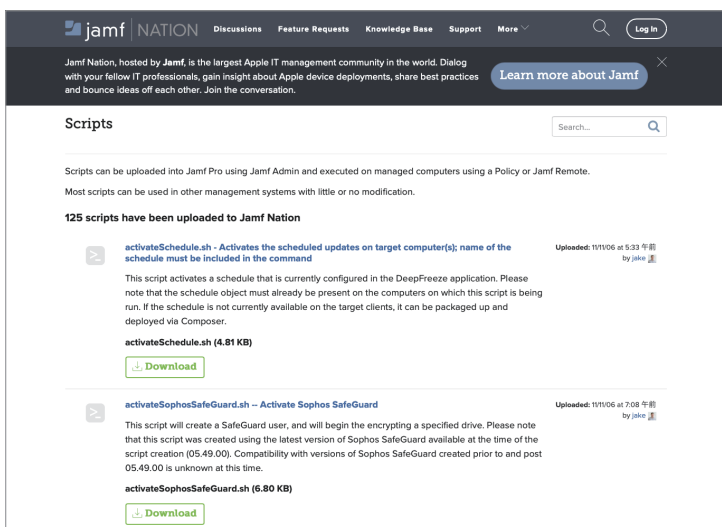
また、情報システムを担当する側にとってもJamf Pro導入は業務へのモチベーションにプラスの影響が働いたと言います。

「従来のいわゆる“情シス”的な業務では、社内で決定した施策をいかに従業員に実施してもらうかという作業に多くの時間と労力を割いてきました。これはお願いするほうもお願いされるほうも互いにストレスを感じますし、Macに関しては別部署に依頼するということもありました。しかし、Jamf Proを導入後は私たちだけで十分に運用できて

ますし、情報システム部門としてのコントロール能力を取り戻せたというのが大きな成果と言えます」（赤坂氏）

「これまで手作業で行っていた部分を自動化できたことで本来行うべき施策の内容についてもっとよく考えられるようになりました」（宮本氏）

「世界最大のApple IT管理フォーラムである『Jamf Nation（ジャムフ・ネーション）』にはすぐに使えるスクリプトなどが多数配布されているので、IT管理者はぜひ活用したほうが良いと思います」（中西氏）



The screenshot shows the Jamf Nation website interface. At the top, there's a navigation bar with 'jamf NATION' and various menu items like 'Discussions', 'Feature Requests', 'Knowledge Base', 'Support', and 'More'. Below the navigation, there's a header section with a search bar and a 'Log In' button. The main content area is titled 'Scripts' and contains a search bar. Below the search bar, there's a paragraph explaining that scripts can be uploaded into Jamf Pro and executed on managed computers. It also states that 125 scripts have been uploaded to Jamf Nation. Two specific scripts are listed: 'activateSchedule.sh' (4.81 KB) and 'activateSophosSafeGuard.sh' (6.80 KB). Each script entry includes a brief description, the upload date, and a 'Download' button.

構成プロファイルや運用ポリシーなどをスクリプトによって実行できます



The screenshot shows the Jamf Nation website interface. At the top, there's a navigation bar with 'jamf' and various menu items like '製品', 'ソリューション', 'リソース', 'お問い合わせ', and 'Jamf Nation'. Below the navigation, there's a header section with a search bar and a 'ログイン' button. The main content area features a large image of a crowd of people at a conference. Below the image, there's a text overlay that reads '世界最大の Apple IT コミュニティへようこそ'. Below the text, there's the 'jamf NATION' logo. At the bottom, there's a paragraph of text describing Jamf Nation as the world's largest Apple IT management community, where professionals can share best practices and gain insights into Apple device deployments.

世界最大のApple IT管理フォーラム「Jams Nation」
[URL]<https://www.jamf.com/ja/community/jamf-nation/>